

ミラノ国際博覧会で豊岡をPR 日本館フードコートのお米は全てがコウノトリ育むお米に

5～10月の6カ月間、イタリア・ミラノで、ミラノ国際博覧会が開催されています。

ミラノ市では、この機会に、兵庫県出展事業(7月16～19日・日本館)の一つとして、コウノトリ育むお米や豊岡の観光PRなどを実施しました。

《問合せ》農林水産課
☎23-11127



▲コウノトリ育むお米の和風リゾットに、約400人の来場者は大満足
●和風だしの取り方を実演する高橋総料理長



豊岡市・JAたじま出展

たじま農業協同組合と共同出展したステージイベントでは、コウノトリ育むお米やその背景にあるコウノトリ野生復帰について、映像を交え紹介しました。また、城崎温泉西村屋の高橋総料理長がコウノトリ育むお米に但馬牛やズワイガニを加えた和風リゾットを調理。来場者に振る舞い、とても好評でした。

また、兵庫県が作成したパンフレットを使用し、城崎温泉や出石城下町など、豊岡の特徴的な観光資源を紹介しました。

▼日にち 7月16日

▼場所 ミラノ国際博覧会日本館 2階 イベント広場



▲コウノトリの野生復帰の取り組みを紹介する中貝市長

ひょうごプレミアム

レセプション(県主催)

イタリア国内の流通やメディア、飲食関係者等に、コウノトリ育むお米や関連商品のPRを行いました。

▼日にち 7月17日

▼場所 パラッツォ・ピレツリ 31階(ミラノ市)

▼来場者数 約200人

▼コウノトリ育むお米や関連商品を紹介



●取材を受ける中貝市長

コウノトリ育むお米のPR

現地で定期的開催されているコウノトリ育むお米を使った「おにぎりづくり体験」を視察。市長から、豊岡のコウノトリ野生復帰の取り組みなどを紹介しました。

▼日にち 7月16日

▼場所 株式会社ピースキップ チンミラノ店(ミラノ市)

▼内容 カルチャール講座「Peace Food Stories」の視察など

▼参加者 現地在住者9人



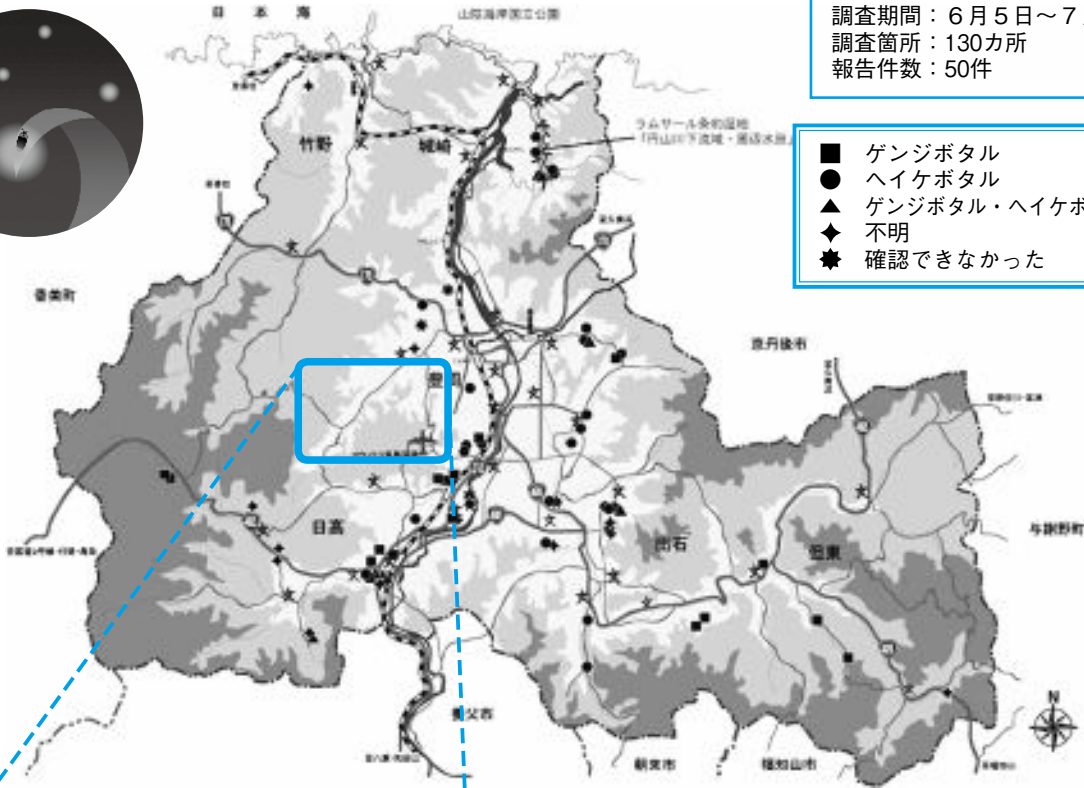
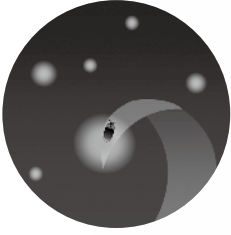
▲おにぎりから日本の食文化や豊岡の取り組みを学習

コウノトリ育むお米の認知度を高め 輸出を検討します

日本館の全てのレストランとフードコート(飲食店コーナー)7店舗では、コウノトリ育むお米(減農薬)が使用されています(24・5トン、

約20万人分に相当)。今後は、コウノトリ育むお米の認知度をさらに高め、海外販売を検討し、一層の価値向上を図ります。

《ホタル生息調査の結果》



調査期間：6月5日～7月12日
 調査箇所：130カ所
 報告件数：50件

- ゲンジボタル
- ヘイケボタル
- ▲ ゲンジボタル・ヘイケボタル
- ◆ 不明
- ★ 確認できなかった



天候との関連性の報告

▼雨上がりにホタルがたくさん飛んでいるということが分かった。

経年変化の報告

▼昨年あまり見られなかった場所で数多く見られた。
 ▼以前多く見られた場所に自動販売機の明かりが付き、今年はあまり見られなかった。

感想

▼近所でホタルが見られることが分かりうれしい。
 ▼親子で楽しみながら調査できた。 など

参加者の声

市では、ホタルやアカトンボなどの市民生物調査を今後も続けます。誰でも参加できる生物調査を通じて、身近な自然を感じてみませんか。

コウノトリ市民研究所「田んぼの学校」を開催

- ▼日時 10月18日(日) 午前9時30分～
- ▼場所 コウノトリ文化館
- ▼内容 田んぼや池でアカトンボ探し
- ▼参加費 100円
- 《問合せ》コウノトリ文化館 ☎23-7750

アカトンボを知ろう！

☎21-9017

《問合せ》コウノトリ共生課
 を連絡してください。

※調査票は、小学校区ごとに分かれています。希望校区を連絡してください。

※調査票の受取りと提出先は各地区公民館またはコウノトリ共生課

③11月6日(金)までに提出

②アカトンボを探し、調査票に記入

①調査票の受取り

▼調査期間 10月1日(木)～31日(土)

市では、昨年に引き続き、市内全域でのアカトンボ調査を行います。家の周りのアカトンボを探しませんか？

▼調査方法

アカトンボを探しませんか？